

平成16年度山口大学工学部との技術職員合同研修会に出席して

技術センター 工学部等部門

機械・電気系技術班 清水 高

1. はじめに（目的等）

平成16年4月より国立大学が国立大学法人となり、それに伴い広島大学も大幅な組織改革が実施されました。教室系技術職員は、広島大学技術センター所属の技術職員となり、「広島大学に対していかに技術貢献を深めていくか」またそのためには「組織づくり・人事管理・業務管理・スキルアップ」等はどうあるべきか等々、日々模索と自問自答を重ねながら業務をこなしております。

そこで今回、法人後の教室系技術職員の「人事管理と業務管理」というテーマで山口大学工学部と情報交換を行い、他大学技術部の業務への取り組み・技術貢献のあり方を取得し、今後の業務遂行に生かすべく、技術職員合同研修会に参加しました。

2. 期間・場所

期間：平成17年3月7日（月曜）～平成17年3月8日（火曜）

場所：山口大学工学部

3. 参加者

広島大学技術センター工学部等部門7名

山口大学工学部技術部5名

参加者内訳

「技術長(技術専門員)1名、技術班長(技術専門職員)4名」

4. 研修内容

1日目 3月7日

1) 山口大学工学部技術部の概要説明

山口大学工学部技術部技術長による山口大学工学部と山口大学工学部技術部の概要（技術部規則、技術職員の技術支援に関する内規、技術支援依頼書、技術支援終了報告書、技術部運営委員会内規、技術部組織、技術部の班別業務一覧等）の解説。

2) 山口大学工学部技術部各班の業務内容紹介

各班長4名による班業務の説明

①環境システム班

電気・建設系分野において、教育研究に関する実験実習、測定、分析及び機器の維持

管理・設計・製作・開発等の専門的技術業務

② メカトロ班

メカトロ・情報系分野において、教育研究に関する実験実習、測定、分析及び機器の維持管理・設計・製作・開発等の専門的技術業務

③ 物質化学班

化学・材料・物理系分野において、教育研究に関する実験実習、測定、分析及び機器の維持管理・設計・製作・開発等の専門的技術業務

④ 運営支援班

情報システム、ものづくり等の分野において、教育研究等に必要なシステム開発、機械加工、実験実習等の専門的技術業務

3) 広島大学技術センターの概要説明

4) 広島大学安全衛生管理の概要説明

5) 自己紹介と各自業務概要説明（広島大学技術センター職員）

6) 質疑応答

2日目 3月8日

1) 山口大学工学部 施設見学

山口大学工学部技術長の案内により、各施設を見学する。

① 講義棟（平成12年度新設建物）



玄関ホールと連なる建物中央部に広い吹き抜けがある。

講義室内の椅子は固定式ソファー布張りで、暖かさと豪華さがある。

個別空調システムを採用している。（山口大学工学部は、ボイラー等による集中空調システムは現在行っていない。）

② 総合研究棟



山口大学工学部のなかでは比較的新しい建物で研究室スペースに空きもみられた。この建物の玄関ホールの一角に、技術部の設計製作による、外来者用学内案内システム（モニター画面をタッチして、訪ねたい教員・研究室を検索するシステム）を設置している。



案内システム外観



モニター画面

③ 社会建設・機能材料実験研究棟

技術長のホームグラウンドの施設で、各実験室を見学してまわる。



床板の移動載荷装置



クロー°試験機



極低温3軸圧密試験装置

④ 機械工学科実習棟



建物内は整理整頓されており、通路を黄色でペイントしている。

⑤ 本館



山口大学工学部の核となる建物で、正面玄関を入ると直ぐに事務部があり、事務職員は事務長以下全員が広いワンルームの部屋で業務している。事務部に隣接して、技術部室を確保している。



技術部室は2部屋からなり、1部屋はスケジュール表、パソコンを備えた事務机等を配置しており、もう一部屋は15人程度収容可能な会議室となっている

技術部事務室

5. まとめ

今回、法人化後初めて他大学の技術系職員と情報交換する機会をいただきまして、業務遂行に大いに参考となる情報を得ることができました。

その要点を以下のとおりまとめます。

- 1) 山口大学本部キャンパスは山口市にあり、宇部市内に工学部キャンパスと医学

部キャンパスがそれぞれ独立して運営している。

山口大学工学部の職員構成は、教員182名（内教授77名）、事務職員34名、技術職員33名（内教務員5名を含む）となっている。

技術部の組織は事務部と同等程度あり、事務部からの要望は多く、技術長は常に事務長と情報交換を行い、また色々な業務依頼を受けている。

- 2) 山口大学工学部は技術部を組織するうえで重点とした事項は、教室系技術職員は研究室所属から、組織された技術部に所属変更することを、部内に徹底することとした。

教員、技術職員双方に今までの勤務様式を変更したことを認識させると共に、業務依頼を行う場合には依頼者から技術部長（工学部長兼務）宛に「技術支援依頼書」を提出することとした。

- 3) 山口大学工学部は平成16年11月1日付けで、以下の規則を施行している。

⑥ 「山口大学工学部技術部規則」

全10条からなっており、「設置」「組織」「技術部長」「技術長」「技術班」「技術班長」「技術主任」「技術職員」「研修」「雑則」を明記している。

② 「山口大学工学部技術職員の技術支援に関する内規」

全8条からなっており、「趣旨」「技術支援」「業務の依頼」「支援の通知」「支援期間」「支援の受け入れ」「業務の終了・中止」「雑則」を明記している。

また、「技術支援依頼書」「技術支援依頼終了報告書」を内規の条文へ明記している。（様式を別添している）

③ 「山口大学工学部技術部運営委員会内規」

全8条からなっており、「趣旨」「審議事項」「組織」「委員長」「議事」「委員以外の出席」「事務」「雑則」を明記している。

山口大学工学部技術部はこの内規に則り運営されている。

6. 感想

今回の研修期間中に山口大学工学部技術部の技術長、班長と多岐にわたり話合う機会を持つことができました。

山口大学では、研究室の依頼による業務と学部共通の業務の双方を、今まで以上に前向きに取り組んでいます。また、「今まで外注していた業務のなかで、技術部で出来ることはないか？」という取り組みを進めており、このことも多いに参考となりました。

法人化と同時期に組織改革された多くの大学の教室系技術職員は、「専門性を高め、教

育・研究活動に対して全学的な技術支援」を求められており、広島大学も例外ではないと思います。

それを達成するには、「個人のレベルアップ・スキルアップ」「組織の意志疎通と団結」「組織及び個々の評価・点検」等を段階的に進めながら融合することが必要と思います。広島大学技術センターが内外から高評価と信頼を得るために、その構成員として、意識改革と前向きな業務遂行を心がけたいと思います。



山口大学工学部近隣にある宇部市常磐公園



常磐公園のアイドル
桃色ペリカの「カッターくん」

「写真提供、広島大学技術センター工学部等部門 建設・環境系技術班 京泉敬太氏」